

～武蔵野市になって75年～

11月3日は市制施行の記念日です

武蔵野村から武蔵野市になるまで（歴史）

明治22（1889）年4月 —— 市制町村制の施行に伴い、吉祥寺・西窪・関前・境の4村と井口新田飛地とが合併して武蔵野村が誕生。人口は約3000人。

昭和3（1928）年11月 —— 郊外住宅地として整備が進められた武蔵野村は、人口の増加に伴って町制をしいて武蔵野町となる。人口は約1万3000人。

昭和22（1947）年11月 —— 武蔵野町は市制を施行して、武蔵野市が誕生。人口は約6万3000人。

「武蔵野市百年史」より

2018～2022年までの5年間での主な出来事

12月

- 市立小・中学校全校の体育館に冷暖房機導入を決定（令和元年度中に完了）
- 地域包括ケア人材育成センターを開設

2018年
（平成30年）

3月

- 障害者地域生活支援ステーションわくらす武蔵野を開設



- 武蔵境駅南口駅前広場のリニューアル完了

10月

- ふるさと応援寄附（ふるさと納税）の取り扱いを開始

1月

- 武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置

4月

- 第六期長期計画（令和2年度～令和11年度）の期間が始まる
- 自治基本条例・議会基本条例施行
- 待機児童0（ゼロ）を達成（以降0を継続中）

2020年
（令和2年）

11月

- むさしのエコreゾートが開館



2月

- 武蔵野市くらし地域応援券事業（第1弾）実施（令和4年2月第2弾実施）
- 新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援を独自に開始

4月

- 児童・生徒一人1台の学習者用コンピュータを活用した授業を開始

7月

- 東京オリンピック聖火セレブレーションを実施



8月

- 2学期から桜堤調理場が稼働を開始



4月

- 市独自に高校生などの医療費助成を本格実施（令和3年4月から一部実施）
- パートナースhip制度開始

7月

- 気候市民会議を開催



2022年
（令和4年）

西尾 勝氏を名誉市民に推挙



西尾 勝氏 | 昭和13年生まれ 令和4年3月22日没(83歳)
行政学者・東京大学名誉教授

国の地方分権推進委員や地方制度調査会長などを歴任。機関委任事務制度の全面廃止などを含む、いわゆる第一次地方分権改革を実現させるなど、国や地方の制度改革に大きな役割を果たされました。また、本市の基本構想・長期計画および調整計画における策定委員長などを務め、多様な市民の参加と対話によって計画を策定するという、いわゆる「武蔵野市方式」の基礎を築かれました。

こうした功績を末永くたたえるため、武蔵野市名誉市民条例に基づき西尾 勝氏を名誉市民として推挙することを決定しました。11月3日の市制施行75周年記念事業で名誉市民章が贈られます。

市制施行日を市民の皆さんと一緒に祝うために準備を進めています！

11月3日には名誉市民推挙とコンサートが開催されます

開催会場 武蔵野市民文化会館
(武蔵野市中町3-9-11)

開催時間 午後1時～2時30分
※第1部～3部までの時間です。

同日開催！

自治基本条例に関するシンポジウム

自治基本条例に関するパネルディスカッションを同会場にて行います(午後2時45分～4時)。申し込みは不要です。

〈記念事業の内容(予定)〉

第1部 オープニング

・むさしの市民の歌の合唱、市長あいさつなど

第2部 名誉市民推挙

・名誉市民の方へ推挙状や名誉市民章を贈呈します

第3部 コンサート

・第一中学校吹奏楽部によるコンサートを行います

記念事業参加のお申し込みは市報(10月1日号)でご案内しています。詳しくは市ホームページでもご覧いただけます。ぜひご参加ください。



11月1日に市のホームページが リニューアルします

デザインやページの構成などを工夫して、さらに市民の皆さんに分かりやすく情報をお届けできるようにリニューアルします。

- 全ページSSL化(暗号化)し、安心してご利用いただけるようにします
- 災害時に閲覧不能とならないようにシステムの強^ま韌性を図ります
- イベントなどの情報の探しやすさを向上します

市制施行記念の 「市勢要覧(記念誌)」の発行と 「特設WEBサイト」を開設

市制施行75周年を記念して、武蔵野市のまちや施策・事業のほか、市にゆかりのある著名人の方や市内で活動されている団体の方などを紹介する冊子を作成中です。冊子の内容と連動した特設WEBサイトも公開予定です。11月3日に発行・開設予定ですので、ぜひご覧ください。特設サイトは市ホームページからアクセスできます。